

# 青少年育成方策の力点は



新改 秀作 議員

**新改秀作議員** 現在、時代を担う青少年を取り巻く環境は、決してよいものではないと思われる。家庭の崩壊・学校教育の低下・地域の無関心が、それに拍車をかけている状況である。そこで、本町の青少年育成方策は、どのようなところに力点を置いて進めているのか。

**福留教育長** 社会・経済の急激な変化は、青少年に多大な影響を与え、非行の低年齢化が課題となってきた。そういったなかで本町は、乳幼児期の子育て学習会、小・

中学校における家庭教育学級、子供会の充実促進、指導者研修会の実施、豊かな情操を育むための文化事業を実施してきた。地域社会においては、ふるさと歴史探訪、小・中・高校生の交流キャンプ、各種のイベント等を実施しながら、家庭・学校・地域の連帯を深めている。今後もあらゆる機会を通して、青少年育成に取り組んでいきたい。

**新改議員** 児童民生委員との連携は、どうなっているのか。

**教育長** 児童民生委員との連携については、連絡会を開催し、学校や地域での子供たちの様子等について情報交換を行い、指導上の問題点等への協力をいただいている。ま

た、青少年育成町民会議やPTA等にも参加をいただいている。今後も各機関と協力しながら、進めていきたい。

**新改議員** 高校生クラブや青年団の現状はどうか。また、ボランティア活動

への参加状況は、どうなっているのか。また、川内市等が実施している「青少年の集い」の開催は、考えられないか。

**福留教育長** 高校生クラブは、昨年度、終野地区をモデル指定して立ち上



青少年育成の一環として、夏に里村で実施される「少年の船」

げたところである。町外の高校への就学が多いことや部活動等への参加問題等で、集まりにくい現状もある。先進地の研修等を行いながら、さらに取り組んでいきたい。

青年団については、現在の団員が二十八名である。各地区での活動は、困難な状況にある。今後、魅力ある活動を行い、団員を増やし、積極的な活動ができるように支援していきたい。

ボランティア活動については、宮之城中学校の「フォー・アザース」の活動をはじめとして、子供会、スポーツ少年団等も活動を行っている。今後も積極的に推進していきたい。

青少年の集いについては、青少年を一堂に集めて、いろんな体験活動、発表の機会をつくるというところはいいことだと思う。今後、検討し、前向きに取り組んでいきたい。